

## 平成 31 年度(令和元年度) 体力等調査の結果について

平成 31 年度（令和元年度）に実施された体力等調査の結果について、杉並区立小・中学校の結果を報告する。

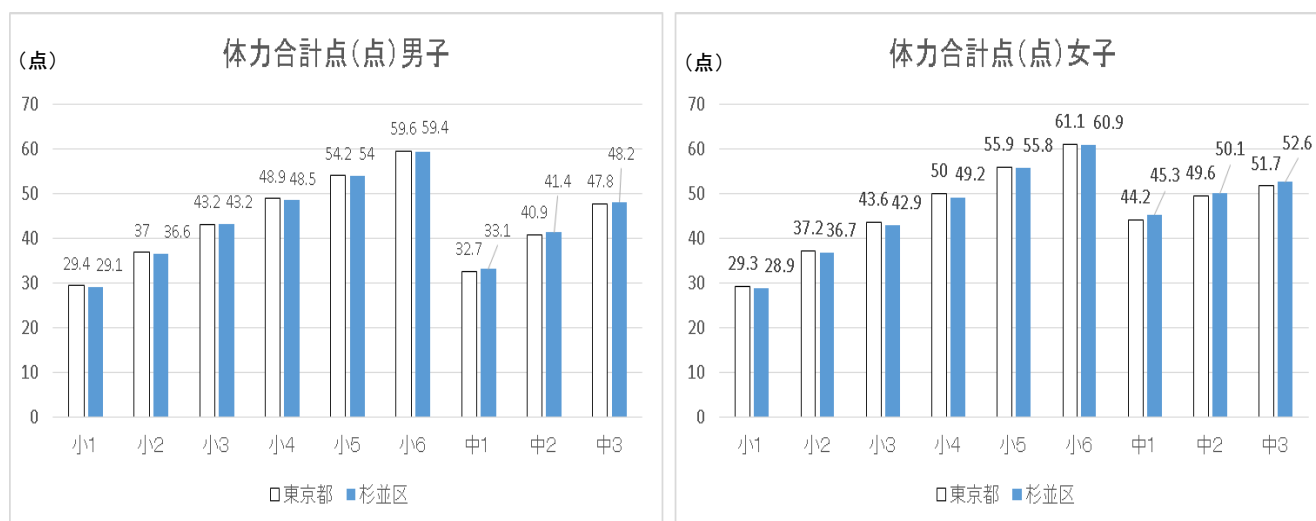
### 1 体力等調査の概要

実施	東京都教育委員会
名称	平成 31 年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査
目的	・東京都の児童・生徒の体力・運動能力及び生活・運動習慣等の実態を把握・分析することにより、その改善を図るとともに、これらの取組を通じて、学校における児童・生徒の体力・運動能力等の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
対象（方式）	・都内公立学校の全児童・生徒（悉皆）
調査内容	・体力・運動能力に関する調査 ⇒握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルランもしくは持久走、50m走、立ち幅とび、ハンド（ソフト）ボール投げ ・生活・運動習慣等に関する質問紙調査
調査時期	平成 31 年 4 月から令和元年 6 月までの間

### 2 調査結果の概要

#### （1）体力合計点の比較（令和元年度の東京都・杉並区）

東京都の平均値とほぼ同値であると言える。

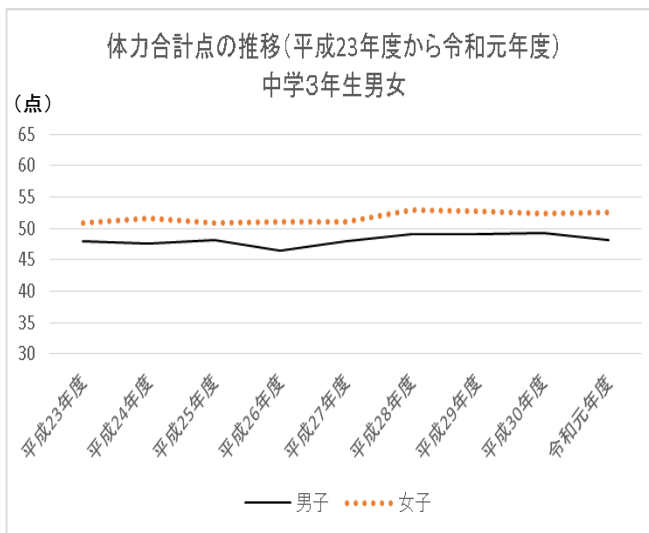
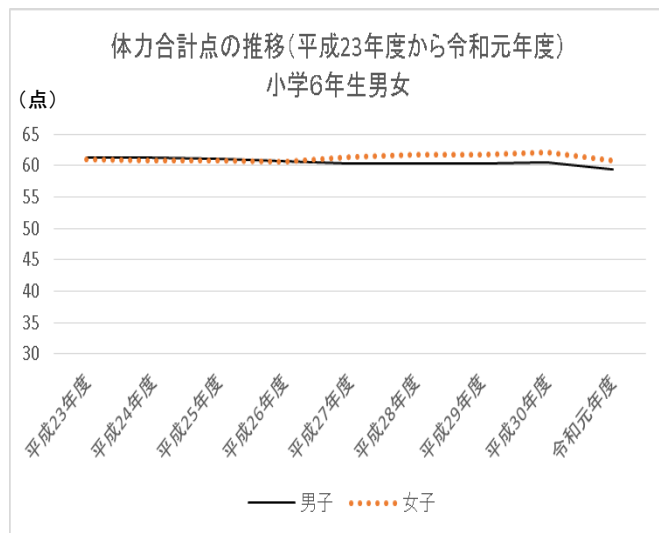


※体力合計点とは、上記調査種目の記録を得点換算し、全ての得点を合計したものである。

※小学校と中学校では得点換算方法が異なる。

(2) 体力合計点の推移（平成23年度から令和元年度）

大きな変化は見られず、現状維持の状況である。



※男子と女子では得点換算方法が異なる。

### 3 考察及び今後の取組

- ・体力調査の結果からみると、本区の児童・生徒の体力合計点は、過去8年間に渡り大きな変化はみられない。これまでの学校での取組が、一定程度の役割を果たしていると考ええる。
- ・児童・生徒の総合的な体力については、社会の変化に伴う新たな健康課題に対応した教育が必要との指摘がある中で、全ての教育活動を通して、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する基礎基盤を家庭や地域と連携して充実させていく必要がある。
- ・今後も児童・生徒自らが、自己の体力や健康上の課題解決に向けて、運動習慣や生活習慣の改善を図る実践的な態度を育成するために、養護教諭や栄養士、外部人材の専門性を取組に生かすとともに、保護者と連携した食育、健康教育を更に充実させ、総合的な体力の向上を図る。